

キューバ友好フォーラム 2011

アレイダ・ゲバラさんに聞く

聞き手：富山栄子さん

キューバは エネルギー危機を どう乗り越えたのか

8月3日(水) 18:30~ (18:00 開場)

日本青年館 3F 国際ホール ☎03-3401-0101

JR中央・総武線各駅停車「千駄ヶ谷」駅より徒歩9分/地下鉄銀座線「外苑前」駅3番出口&都営地下鉄大江戸線「国立競技場」駅A2出口より徒歩7分

参加費 1000 円 (円卓会議会員 500 円) ※参加多数の場合、予約優先

3月11日に起こった「東日本大震災」とそれに伴う「福島第一原子力発電所の事故」は、世界に津波のような衝撃を与えました。革命キューバは、1991年、それまで石油の大半を依存していたソ連が崩壊したことにより未曾有の危機に直面。極めて深刻なエネルギー不足に陥り、GDPは34%も下落しました。国民の生活も困窮を極め、キューバ国民が「special period」(非常時)と呼ぶ苦難の時代を迎えたのです。その時、キューバは、建設中であった原発を中止し、自然エネルギーへの転換と有機農業への模索を開始し、やがて、この苦難の時代を克服します。

あの時、キューバはエネルギー危機をどう乗り越えたのか？ 国民はこの危機にどう立ち向かったのか？

この夏、3度目の来日をされるチェ・ゲバラの長女、アレイダ・ゲバラさんに当時のお話を聞き、エネルギー危機に直面している私たちが進むべき道を一緒に考えたいと思います。



アレイダ・ゲバラ

ALEIDA GUEVARA

小児科医・アレルギー専門医

1960年チェ・ゲバラと妻アレイダ・マルチとの間に長女として誕生する。7歳の時に父チェを亡くし、その後父と同じ医師になる。現在はキューバ親善大使を務めながら、小児科医として、父親ゆずりの行動力でラテンアメリカやアフリカを飛び回って、子どもたちの医療活動などを行っている。

また、ベネズエラのチャベス大統領にインタビューしたり、マイケル・ムーア監督作品『シッコ』(2007年公開)に出演したり、医療分野を超えた活躍も注目されている。

2008年に初来日、今回は3回目の来日。ウーゴ・チャベスとの共著に『チャベス ラテンアメリカは世界を変える!』(伊高浩昭訳/作品社/2100円)がある。



富山栄子

国際交流・平和フォーラム代表。

翻訳、会議通訳、執筆活動などで国際的に活躍中。

キューバとの付き合いは1971年の初訪問以来、現在に至る。

写真&トーク

和田剛の「おれとキューバ」東北の人たち、そして日本へエールを込めて

僕は焦っていた……。未来に思いを巡らすと、不安や焦燥ばかり。後がない。そんな覚悟で出かけたキューバ。自分自身と格闘し、圧倒的に平和な光景に葛藤した。僕がこれから進む道はどこにあるのか。

フォトグラファー。1974年生れ/2010年キューバを訪問/11年4月、キューバ料理をフューチャーした個展「おいしいキューバ」スワンカフェ銀座、同年6月公募選考作品として個展「おれとキューバ」epSITEギャラリーで開催。



和田 剛



会場MAP

●申込み&問合せ●キューバ友好円卓会議 〒157-0073 東京都世田谷区砧8-15-14-101

http://cubaentaku.web.fc2.com/ e-mail:cuba.entaku.0803@gmail.com FAX 03-3415-9292